

おだひろし 大和市議会議員  
元産経新聞記者

# 小田博士の 市政かわら版



## 一般質問

## 企業活動振興条例の進捗は？

# 誘致3社はじめ計16社支援

自民党は国、県、市の「タテの連携」を進められる政党です。改選後初となる大和市議会6月定例会の一般質問では、タテの連携を強化すべく、県議会の代表質問と同じスタンスで企業誘致について質しました。

大和市は昨年4月、市内経済の活性化や税収増加に向けて企業活動振興条例を施行し、企業誘致にも本腰を入れ始めています。

そこで、この条例に基づく支援がどう進んでいるかを質問。市側は、昨年度において新規立地（企業誘致）



地元に雇用創出を!!

3社、事業拡大3社、設備投資9社、健康企業1社で計16社を認定したことを明らかにしました。

市内に転入してきた企業が地元で雇用を生み出せば、そこで働く地元住民の通勤時間は短くてすみます。「働き方改革」にもつながります。

地元での雇用創出の実数を丁寧に把握したうえで、その数を増やしていくよう要望しました。

## 答弁の要旨

### 【統一地方選の総括】

#### ■市長選(市長答弁)

Q. 開票結果をどう受け止めているか？

A. 非常に多くの市民の皆様からご支持をいただいた。私が市長就任以来一貫して進めてきた「健康都市やまと」を実現するための政策が評価され、「さらに進めてほしい」という市民の皆様への期待の表れと受け止めている。

Q. 多選自粛条例の遵守を求める決議についてはどう考えるか？

A. 議会としての意思を対外的に表明するために行われたものと認識している。このような決議があったことも踏まえて、(市長選で)市民の判断が行われた。

Q. 二元代表制の意義・役割は？

A. 首長と議会は相互の抑制と均衡によって緊張感を保ちながら、それぞれの責任を果たしていくものである。

#### ■投票率低下(選管事務局長答弁)

Q. 理由をどう分析するか？

A. 若い世代の投票率が他の年齢層と比べて低くなっている。この年代の政治的無関心や選挙離れなどが一つの要因と考えている。

Q. 啓発活動における変更点は？

A. 高校生だけでなく大学生も選挙事務を体験していただいた。また、コンクールで入選した市内の小中学生の作品を用いた啓発ポスターを作成し、子育て世代に投票参加を呼びかけた。

Q. 共通投票所を設置してはどうか？

A. 二重投票を防ぐためのネットワーク構築などの環境整備で多額の費用が見込まれる。現時

点では考えていない。

#### 【企業誘致】(市民経済部長答弁)

Q. 企業活動振興条例に基づく認定実績は？

A. 平成30年度は新規立地3社、事業拡大3社、設備投資9社、健康企業1社の計16社である。

Q. 新規立地で雇用創出はできているか？

A. 新規立地を行った3社は従業員の増加を予定していることから、雇用創出ができていると捉えている。

#### 【小学校英語】(教育部長答弁)

Q. 放課後英語教室を開設してはどうか？

A. 現在、基礎学力向上を目的とした放課後寺子屋やまをを実施し、プログラミング教室も併せて行っている。現時点で放課後英語教室を実施する予定はない。



# 20歳代 6分の5が棄権

4月に行われた大和市議会議員選挙の投票率は4年前の前回は2.4ポイント下回る38.4%でした。過去最低を更新し、ついに4割を切っていました。

今回の選挙では、大和市独自の取り組みとして、市内2カ所だった期日前投票所が4カ所に倍増しました。さらに、改正公職選挙法が施行され、市議選立候補者1人あたり4000枚のビラが、選挙期間中に配布できるようになりました。

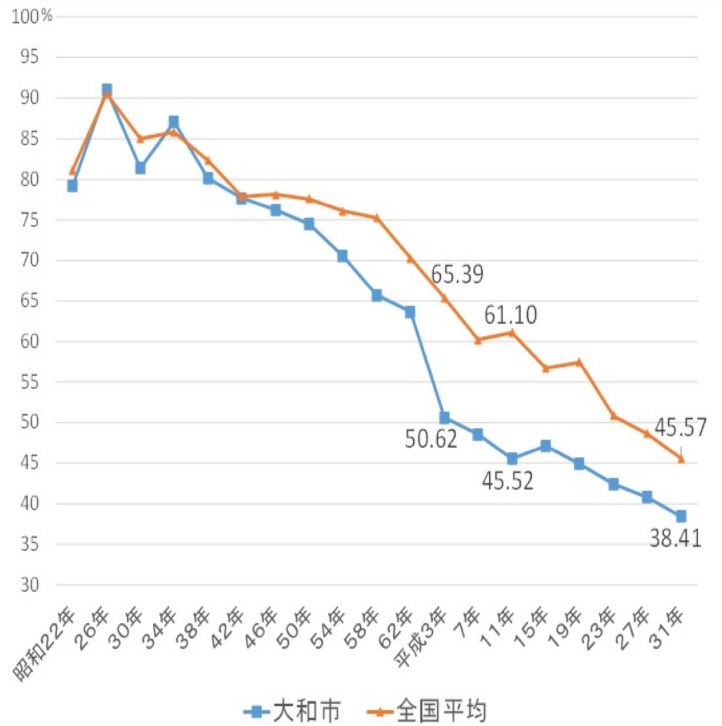
いずれの取り組みも投票率向上が期待されましたが、平成19年以降の長期低落傾向に歯止めを

かけるまでには至りませんでした。大変残念です。

市選挙管理委員会は「若い世代の政治的無関心や選挙離れが一つの要因だ」と分析しました。なかでも20歳代の投票率は17.2%。6人に1人しか投票していません。

選挙は有権者が政治に対する意思を示す最も基本的な手段であり、民主主義の前提です。投票意欲の促進は、行政だけでなく政治家にも課せられた課題です。私も議員活動の「見える化」をはじめ、政治に関心を持ってもらえるよう努力していきます。

市議選の投票率推移



## 2720人の負託 初心を忘れずに



4月の大和市議選(定数28)において2720票を得て、立候補者35人のうち5番目で再選しました。

5月の臨時議会で初登庁し、今期は総務常任委員会委員、議会運営委員会委員に就くことになりました。所属

会派は自民党・新政クラブです。

大和市を良くすることは神奈川県、ひいては日本を良くすることにもつながります。

市議会に再び送り出していただいたのは、市民の皆様方のご支援の賜物だと肝に銘じ、「現場主義」「市民目線」の初心を忘れず、是々非々の姿勢で取り組んでいく所存です。

◆プロフィール

昭和50年1月5日生まれ  
大和市出身/福田在住

- 昭和56年 高座みどり幼稚園卒園
- 62年 西鶴間小学校卒業
- 平成2年 南林間中学校卒業
- 5年 中央大学附属高校卒業
- 10年 上智大学経済学部卒業
- 26年 産経新聞社を自ら退社
- 27年 大和市議に初当選
- 31年 大和市議に再選

◆市議としての役職(令和元年5月~)

総務常任委員会委員、議会運営委員会委員  
市営住宅運営審議会委員

◆その他の主な活動

- 自民党大和市連合支部 政調副会長・広報局長
- 自民党神奈川県連 市町村議員協議会幹事
- 大和中央シティライオンズクラブ
- 関東若手市議会議員の会(神奈川県代表)、隊友会
- 金毘羅神社神輿会
- ◆産経新聞記者(16年間)当時の職歴  
東京本社・整理部→千葉総局→社会部→政治部

【9月議会】

大和市議会令和元年第3回定例会は、8月28日から9月25日まで29日間の日程で開催される予定です。一般質問は9月17、18、19日の3日間です。気軽に傍聴してください。

